

2018年度 第3回常任幹事会議事録

●日時

2018年10月27日(土)
15:00～17:00

●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校 521教室

●出席者

秋元圭一 [会長]
甲斐光省 [副会長]
小山 弘 [事務長]
西田一成 [常任]
浜村圭一 [常任]
松岡和彦 [常任]
白石龍子 [常任]
小山優子 [常任]
勝山昌幸 [常任]
大野美菜子 [常任]
上村晴美 [常任]

●委任欠席者

日野 高 [副会長] 甲斐氏
土橋洋一 [常任]
三好耕之 [常任] 秋元氏
桜井裕美 [常任] 秋元氏
山田直毅 [常任]
藤原成理 [常任] 松岡氏

(幹事17/27名 定足数成立)

●議事進行:

松岡和彦

●議事録

書記:大塚奏芽 [学生]
校正・制作・文責:秋元圭一、
藤原成理、大村政幸、小山 弘

※議事進行を松岡和彦氏に依頼。

■議題1 「まんが計画5」のご報告 (資料1参照)

小山氏より「漫画計画5」について報告があった。

開催日時:10月8日～13日(人形町ビジョンズにて)

参加者数:29名(現役1名)

来場者数:96名

◆出品参加者数の減少の理由

- ・連絡をする期間が前回と比べて2か月ほど遅かった。
(作品を制作する期間が2週間ほどになってしまった。)

◆来場者増加の理由

- ・男性の来場数が増えてきた。
- ・回数を重ねてきているため、認知が広がっている。
- ・展示だけではない企画を行った。
(自費出版[モノクロ12ページ、1200円]を販売している人もいた)

◆その他

- ・ご飯パーティーを開催した。
(和食のケータリング3万円→美味しかった、家庭料理系)
→アサビの卒業パーティーなどにも使えそう。

◆費用と次回の開催

- ・予算15万円
- ※6回目の開催を検討している。次回の予算案は12月の会議で提出する。

●まんが計画について意見交換

秋元:冊子の印刷部数と販売状況はどうか。

小山:200部刷って、53部販売した。

秋元:残った料理はどうしたのか。

白石:希望者が持ち帰った。

松岡:この企画を続けていくために、何のためにやっているのか(卒業生の支援、同窓会の補助など)を明確にして広めていきたい。現在、同窓会の企画で行っている行事が「まんが計画」のみなので、参加者や来場者が増えてほしい。

また、今年のアサビフェスタには、卒業生や同窓会幹事の来校が少なかったので、まんが計画をアサビフェスタなどの学校イベント内で開催すれば、在校生にも同窓会が認知されるきっかけになるのではないだろうか。フェスタの担当者と相談は必要だが、学校外部からの企画もあれば良いと思う。

秋元：フェスタ以外で行なっている学校外部に向けた催しで、続いている企画はあるか。

松岡：学校で開催しているタイポグラフィーの講習会は人気がある。文字のことは関心がある人が多く、Adobe Fontsの影響で、ウェブに携わる人からの支持もある。デザインにリーチするような企画を同窓会で行えば、動員に繋がる可能性はある。ウノカマキリさんなど有名な方に講演を依頼するということも考えられる。

秋元：同窓会ニュースでの告知とまんが計画・フェスタの企画をリンクして計画していれば良いと思う。まんが計画・フェスタの日程によっては同窓会ニュースでより関連付けて告知することができる。
フェスタの中でパネル展示しながら販売もできるのではないか。早めに企画して、フェスタの準備委員会に提案するように考えたい。その時は展示期間中アルバイトの調整も必要になるかもしれない。

松岡：参加者の在校生の枠、一般参加の枠など人数の割り振りはあったのか。

小山：人数の割り振りは行っていない。
フェスタなどで現役の学生にも周知して、参加者を広げていきたい。

甲斐：フェスタと同時開催するほうが良いと思う。学校で開催して、広く告知すれば人が集まる可能性が高まる。休憩室の一角で販売することなども検討したい。

上村：現在はまんが計画の後にフェスタが開催されるため、フェスタで販売数を増やせる可能性がある。また、在校生とのコミュニケーションが増えれば、同窓会活動の敷居が低くなるので、同窓会にも参加しやすくなる。

小山（ゆ）：フェスタが来年も同じ時期の開催なら、10月の3週目にまんが計画を行うことになる。

西田：今後の開催については、予算と決算の推移を示して検討した方が良い。

小山：まんが計画を継続すれば赤字になるが、それで良いのかも考えていきたい。

西田：独自採算性で行っていくのは難しくないだろうか。

小山：これまで予算は15万円のままで行っている。
冊子についてはネットで販売することも考えられる。

松岡：どうコストがかからないようにするかも重要になるが、今後は収入を得る機会を増やしていくことが大切だと思う。

秋元：同窓会運営メンバーに若い人たちが多く参加できるような工夫をしていかなければならない。常任幹事が減ってしまわないように、若い世代が同窓会に繋がれるツール（機会）があるべきだと思う。同窓会の活動を発信していくツールとしても、まんが計画は続けてよいのではないか。

松岡：出された意見を参考にして、まんが計画の担当者に次回開催や今後の企画をまとめて頂きたい。

●同窓会ニュースに関して

秋元：DMを少しでも早く発送したいため、「あさび新聞」の納品時期を調整してもらい、早めてもらった。

【スケジュール】

9/29 DM発送会社に発送宛名データを送る

10/3 同窓会ニュース納品

10/5 ゆうメールにて発送

【発送数】

国内 3,191通

海外 9通

合計 3,200通

【費用】

印刷費：3,500部 27,088円

発送費：23万円弱（ゆうメール）

合計：25万円強ほど

※今回の印刷費はネット印刷を利用して27,000円ぐらいで収まった。

住所不明の場合はDM発送会社に戻るようになっているが、数通が学校に戻ってきたようだ。

住所不明の戻り：19通

※例年が100通ほどあるが、今回は少なかった。

松岡：部止まりがよくなった理由は？

秋元：住居変更の対応がうまくできるようになってきた。

松岡：住所変更が複雑システムになっているのではないか。今後は学校の名簿との共有化をしなければならない。

秋元：毎回チェックしないでも、送れるようにしていきたい。

同窓会で持っているリストを学校でも活用していけるようにしたいと思っている。

■議題2「企画会議（12月開催）」の提案について（資料2参照）

小山：同窓会の赤字を減らすため、「企画会議の開催」を提案する。
現在は企画が立ち上がった時に、常任幹事会でその都度承認を得て決めているが、その方法を変更したい。

●企画会議について意見交換

松岡：予算の提出は各委員会担当者からか、幹事が個人で考えた企画でも良いか。

小山：どちらでも良い。これまでの委員会からの予算案も先に企画会議で仮承認を得ることにしたい。

秋元：これまでは大まかに想定した内容で予算を組んでいた。今後は同窓会内の共通認識を得るため、提案時点で具体的な内容を提案し、中途半端な企画提出はしない方向で考えてほしい。

松岡：各委員会の事業計画も同様に行うことになる。

西田：以前、私が会計監査をしていた頃には、計画書を出してもらっていた。同様のフォーマットを書類とデータで作っておくと良いと思う。企画と予算を出した担当者が、決算まで行ったほうがスムーズに進められるのではないか。

小山：今回は個別に作成してもらうことにして、段階を追って共通フォーマットを作っていく。データはクラウドにあげて共有している。

松岡：予算の仮承認は企画会議の出席者で行うのか。その場合には全体の予算をオーバーしないようにプライオリティーをつけないといけない。

小山：12月に提出された内容を検討し、出席者で仮承認する予定。

秋元：過去5年間くらいの予算・決算を参考に、企画会議を進めていこうと思う。パーティー開催年以外の予算は少ないため、予算を多く必要とする企画については注意して検討する。

松岡：予算の使い方の意図となるためフォーマットの計画はいいと思う。

白石：本日の欠席者など、企画会議開催について知らない人への対応はどうか。

勝山：メールで決定内容を送るなどの対応をする。

「企画会議について」は全員一致で承認された。

■その他 意見交換

◆同窓会の世代交代のための提案

松岡：同窓会運営の世代交代のため、30～40代の方を対象に同窓会のこれからのためのアイデアソンの開催を提案します。

同窓会と活動に関係のない人を対象に「ゆるめの会議」のような雰囲気で行いたい。これまでの同窓会関係とは別ルートで企画する。参加して「楽しい」と感じられ、常任幹事をやりたいと思っている人にとって敷居を低くするきっかけにしたい。

小山：活動のベースにする費用は1年間は出したいと考えている。

事前に企画を提出し、報告書を提示する流れで行っていただきたい。

※パーティーの返信で対象の人数は把握できるが、はっきりしない年代もある。

松岡：総会&パーティーの「年代パネル」は良い内容だった。アサビの過去の情報をアーカイブして、貴重なリソースを保存していきたい。

◆名簿管理について

勝山：名簿管理のために同窓会で持っているファイルメーカーが使えなくなるので、新規に購入するべき。12/20までキャンペーンをやっているのだから、この機会に購入したい。※費用は3万円程度。

松岡：アカデミック版を購入するというのも検討できる。

秋元：キャンペーン中のファイルメーカーを購入し、不都合があればアカデミック版を検討するという方向で考えてほしい。担当者がやりやすい方法で良い。

勝山：必要なことなので、事務局で行うことにする。

◆選挙について

西田：選挙について期限やルールを決めないといけない。会員には投票する権利があるので、放置することはできない。選挙権計画を見直していくべき。

秋元：選挙のやり方について会則の中に表記していない。したがって会則を変更しなくても、常任幹事会の中で変えていけるので、どのようなやり方がよいか意見交換していきたい。

松岡：ウェブ上で議論する方法も考えたい。代表者から提起して頂き、広い方から意見を集めて行なっていくほうが良い。

勝山：私はWEB上の話し合いにスラックを使っている。使いやすいので同窓会にも活用できるのではないかな。

松岡：選挙の件は選挙管理委員の勝山さんから議題として提起したほうが良い。新しいツールを導入する場合には、使用方法について講習会も必要になる。

小山：今回は見送ってもいいのではないかな。

松岡：選挙については12月までに担当委員で提案する。

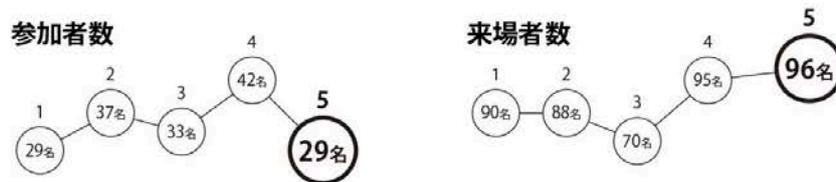
以上で会議は閉会した。

次回の開催予定：12月8日(土) 15:00～17:00 「常任幹事会」

【まんが計画⑤】 報告書

はじめに

「総会&パーティー」に引き続き「まんが計画⑤」を10月8日~13日の期間で開催しました。残念ながら参加者は第1回の頃に再び大幅に減少してしまいました。ただし、来場者数は過去最高数となりました。



参加者数の減少

参加者数の減少につきましては、今回は募集期間が(2ヵ月ほど)短く制作期間非常に短かった事が影響していると思われます。

初日の「豪華、ごはんパーティー」について

今回は寄付を募り、予算を1万円アップさせていただき、初日のオープニングパーティーをおこないました。和食のケータリングを利用した内容で値段の割に結構なボリュームがあり、次回の総会&パーティーのケータリング候補として利用することも考えられます。

参加者の方々はいつも来て下さる方々の他に、今回は出品はしなかった過去の参加者も来場していただき、賑やかに開催できました。



費用と次回の開催について

計算中ではありますが予定通り15万円以内で終了することが出来そうです。詳細は次回の会議でお伝え致します。

また、次回の「6」回目を開催するか常任幹事の皆様にご判断いただきたいと思います。開催が決定出来る様でしたら次回12月の会議で予算と共に企画の提出をいたします。

【企画会議】について

はじめに

今後、少子化に伴い会費の収入が減ることが予想されます。

そのため、事務局では出来るだけ赤字部分（現在は平均で年間マイナス30～40万円程度）を少しでも減らすため、同窓会活動の企画やそれに伴う予算承認をより計画的おこないたいと考えています。

なぜ企画会議が必要なのか

今まではバラバラな時期に企画内容を発表して、その都度、承認を得るというパターンでした。他にも予算承認を得てから企画の内容を決める場合や、妥当な予算がよくわからないまま進んでしまうという少しいびつな状態もあり、さらに出席者もまちまちで、そのつど再説明やスケジュールや企画全体の共有化が出来ないなどの弊害がありました。

また、会計面ではこれらを調整するため雑費を増やして対応するという状況もあり、処理が複雑になっておりました。

そこで12月の会議を来年度の企画会議に統一したいと考えています。

これらを一度整理すべく下記の様なスケジュールを進める予定でおります。

スケジュール

・18/12/08 企画会議：

19年度活動内容の発表（詳細な内容、予算、日程等）と仮承認

・19/02/16 予算最終承認（ここで4/1から活動ができます）

・19/03/31 前年度の決算×切

・19/05/11 予算・決算承認

予想できる改善点

これにより今まで予算と決算をまとめて処理をしていた現状から、予算をほぼ年度内に終わらせ、その後は決算の処理に集中できるのではないかと思います。

これにより3月末までには予算処理が終わり、4月行こうから決算処理に入る事が出来、会計処理の負担を分散、全体に早い段階で予算・決算の承認を頂ける状況をむかえられるのではないかと考えております。